

環境調査結果のお知らせ

平成23年8月22日午前9時から、野見湾の環境調査を行いましたので結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温24～28℃、塩分32～34、溶存酸素濃度5～7mg/lでした。湾内は、表層の水温低下と塩分上昇により、上下層間の密度差がやや小さくなってきています。

透明度は4～5mで、プランクトン密度は低くなっていました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の水温は23.89～27.76℃、塩分は31.77～33.52でした。前回調査時(H23.8.10)と比べて、水温は1～2℃低下、塩分は0～3上昇していました。

溶存酸素濃度(表3)

湾内の溶存酸素濃度は4.73～6.77mg/lで、前回調査時と比較して0～2mg/l低下していました。

プランクトン(表4・5)

透明度は3.6～5.2mに上昇していました。検鏡の結果、前回調査時に多くみられたケイ藻類は消失しており、プロロセントラム・トリエステinum、ジャイロディニウム属等が少数検出されました。

今回の調査では、有害種の増殖は確認されませんでした。海の状態や養殖魚に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲む等して、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

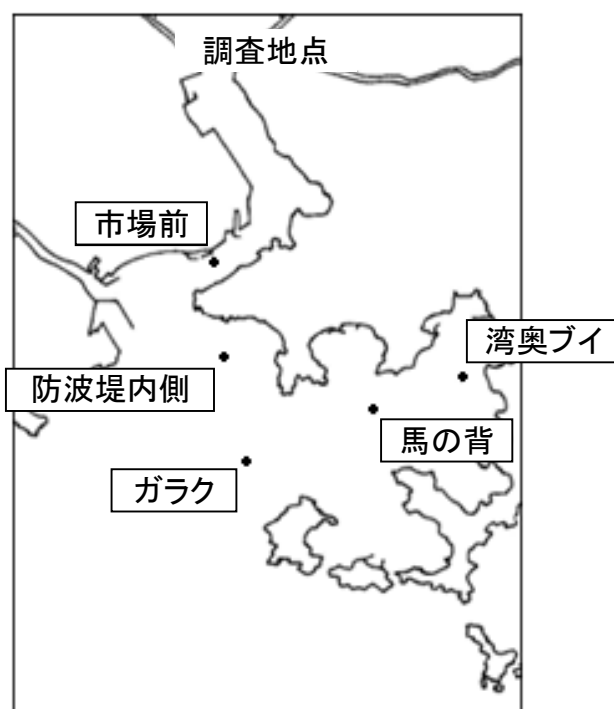


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H23.8.10)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	27.76	27.30	27.60	27.26	27.55	28.68	▲ 1.13	27.44
2m	27.64	27.30	27.42	27.54	27.45	27.99	▲ 0.54	27.49
5m	27.30	27.31	26.75	27.26	27.12	27.66	▲ 0.54	27.29
10m	26.70	26.93	26.36	26.76	26.66	27.18	▲ 0.52	-
B-1m	24.91	23.89	25.58	25.63	24.79	26.37	▲ 1.58	27.00

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H23.8.10)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	32.96	33.11	32.93	31.77	33.00	30.44	2.56	30.95
2m	33.02	33.11	33.00	32.93	33.04	32.27	0.77	32.63
5m	33.10	33.11	33.06	33.09	33.09	32.53	0.56	33.01
10m	33.18	33.16	33.16	33.20	33.17	32.64	0.53	-
B-1m	33.39	33.52	33.36	33.35	33.42	32.97	0.45	33.14

表3 溶存酸素濃度(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H23.8.10)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	6.04	4.92	6.16	6.77	5.71	8.14	▲ 2.43	6.13
2m	5.72	4.84	5.96	6.40	5.51	7.68	▲ 2.18	5.95
5m	4.73	4.83	5.64	6.08	5.07	6.80	▲ 1.73	5.85
10m	5.07	5.34	5.67	5.82	5.36	5.78	▲ 0.42	-
B-1m	5.05	5.60	6.26	5.14	5.64	6.00	▲ 0.36	5.68

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.1	24.1	16.3	16.4	9.7
透明度	3.6	5.2	5.0	3.8	2.4
前回透明度	3.0	3.0	2.5	2.2	1.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		プロロセントラム・ トリエステリナム	ジャイロディニウム属 (ドミナンス、スピラレ)	プロトベリディニウム 属	ミリオネクタ・ ルブラ
湾奥ブイ	0m	0	0	0	0
	2m	11	5	3	0
	5m	9	1	0	0
馬の背	0m	2	0	0	0
	2m	4	2	0	0
	5m	5	4	1	0
ガラク	0m	2	5	0	0
	2m	5	2	0	1
	5m	0	2	0	1
津波防波堤 内側	0m	0	3	0	0
	2m	1	1	1	0
	5m	0	0	0	1
市場前	0m	0	1	1	0
	2m	0	1	0	0
	5m	0	0	1	0